

□議員名：山田 伸幸

1 理科大学薬学部校舎建築工事遅延の責任は

論点	理科大学薬学部校舎建築工事の完成が約2ヶ月半遅れたが、そこで発生した追加工事の7千万円は誰の責任となるか
回答	適切な工期の設定ができなかった市の責任である。

論点	議会の特別委員会への事前の説明では、新しい工法を採用し工期の短縮が図られ、今年2月28日が完成工期となったのではなかったのか。文科省の申請も2月末が工期であったはずだ。
回答	工期短縮を図っても適切な工期が確保できなかった。文科省への校舎完成の申請は、今年2月28日である。

論点	昨年10月に、工期内完成を督促する郵便を請負業者に送っているが、なぜ撤回したのか。
回答	前市長が、事前の説明会において、「工期に間に合わなくてもペナルティを課さない」と約束していたことが、判明したためである。

論点	事前の説明会は、室長も出席していたが、本当に前市長がそのような発言をしたのか。そもそもこの説明会は、会議録もとっていないような非公式のものだ。そこでの発言が、公式の約束となるのか。公式の会議であったと考えて良いか。
回答	室長 前市長の発言については覚えていない。説明会の会議録は、とっていないが関係者が一堂に会した意味のある会議であった。

2 青果市場の問題点について

論点	卸売りをする小野田中央青果の子会社である(株)青果販売は条例違反である。青果販売は解散すべきではないのか。
回答	青果販売は青果市場の付帯的な業務や販売をおこなっており、設立当初は、条例の但し書きに沿って認めてきた。しかし、最近では仲買業者から「異議申し立て」があがっており、今後慎重に検討していく。

論点	<p>小野田中央青果は、かろうじて黒字を計上している。しかし実態は子会社である青果販売からの繰り入れで黒字を確保したものである。</p> <p>ところが青果販売には従業員がおらず、中央青果の社員が作業を委託でおこない、その工賃を中央青果に支払ったようにしている。青果販売の社長として中央青果の社長が(同一人物)指揮命令しているのであり、脱法的な人材派遣ではないのか。</p>
回答	<p>人材派遣とは認識していない。指摘事項は検討して早いうちに結論を出したい。</p>

論点	<p>中央青果には3年間に1,100万円もの補助金を出しているが、その間に中央青果は別の会社に差入れ保証金700万円を提供している。中央青果への補助金は、経営体質の改善を目的としているはずだが、そもそも決算書を見ると資金的な余裕があり、補助金を出す必要は無かったのではないか。</p>
回答	<p>決算書からは問題ないと認められる。</p>

論点	<p>青果市場で売り切ることができなかった野菜類を、市の環境センターがパッカー車で収集に来ており、しかも無料でおこなっているのではないのか。</p>
回答	<p>パッカー車での収集に行っていた。今後はそのようなことはしない。</p>